

## ま え が き

ここに、令和2年版「統計東久留米」を刊行いたします。

この統計書は、東久留米市の人口、産業・経済、教育・文化、厚生・市民等の各分野にわたる基本的な統計資料をできる限り総合的に集録し、市の現況の推移を表したものです。

昨年は我が国最大の統計調査である国勢調査が実施されました。大正9年（1920年）の第1回調査から100年の節目を迎えました。今回の国勢調査は、新型コロナウイルス感染症対策の中、前回までの実施方法を一部変更し、対面での調査をなるべくしない非接触型の方法が取られました。また、東日本大震災から10年が経過し、ほかにも熊本地震など近年は多数の災害が発生しており、もし国勢調査がなければ市町村に配分される地方交付税の算定や、少子高齢化対策、防災・災害対策、選挙区の区割りの改定など国や地方公共団体が行う施策に支障をきたすことは明らかです。新型コロナウイルス感染症が収まらない中で調査に従事されました統計調査員の皆様、調査の回答にご協力いただいた市民の皆様には大変感謝申し上げます。

この統計書が、今後の行政運営の基礎資料として、また、市民の皆様はじめ関係機関の方々に広く活用され、市政の発展に資することができれば幸いです。

おわりに、「統計東久留米」の編集にあたりましては、内容の整備・改善に努めましたが、今後とも各方面からのご指導、ご助言を得まして一層の充実を図りたいと考えております。本書の刊行にあたり、貴重な資料の提供や格別のご協力をいただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和3年3月

東久留米市長 並 木 克 巳

## 凡 例

- 1 この統計書は、各官公庁及び民間団体から提供された資料、既に公表されている各種統計報告並びに庁内各課から収集した資料を集録しました。なお、国勢調査をはじめ、各種統計調査の結果については確定値が出た後、順次掲載します。
- 2 この統計書は、必要に応じて最近3ヶ年(年度)～10ヶ年(年度)程度の数値を掲げることで、経年による変化及び比較対照が容易になるよう編集しました。
- 3 表中「年次・〇〇年」とあるのは暦年(1月1日から12月31日まで)を示し、「平成」と「令和」を併記している項目もあります。「〇〇年度」とあるのは会計年度(4月1日から翌年3月31日まで)を示し、必要に応じて「平成」と「令和」を使い分けています。また、「〇月〇日」とあるのはその期日を示し、「平成」と「令和」を使い分けています。
- 4 単位未満の数値は、原則として四捨五入したため、総計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 5 この統計書に集録した数字で、既に公刊された数値と相違するものは、本書編さんの際に訂正を加えたものです。
- 6 統計表中の符号、用語は次のとおりです。

「－」 皆無又は該当数値のないもの	「…」 不詳又は資料のないもの
「x」 該当数値の公表を差し控えたもの	「0」 単位未満の数値
「△」 減少又は負数	
「皆増」 前年度の数値がなく全額増加したもの	
「皆減」 当年度の数値がなく全額減少したもの	
- 7 東久留米市の面積は、国土交通省国土地理院公表の「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」(令和2年10月1日現在)に基づきます。
- 8 この統計書に集録した資料についての照会は、各表に付してある資料作成機関又は総務部情報管理課統計調査係にお願いいたします。なお、内容につきましては東久留米市ホームページ「まちのデータ」にも掲載しております。

URL <http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/profile/machi/>